

「めざせスターダム! ~Make up 城里~」

高大官連携事業とは、「水戸桜ノ牧高等学校 常北校」・「常磐大学」・「城里町」の三者が連携して、地域活性化の具体的な企画・立案及び実現に取り組む事業です。

平成28年度より、常北校の呼びかけで常磐大学、城里町、城里町地域おこし協力隊が参画し、高大官連携事業が始まりました。

平成29年度に実施した「藤井川ダムカレー」の販売が多く反響を得ていますが、本年度も新たな取り組みを実施していきますので、過去の経緯と併せてお知らせします。

◆平成28年度の取り組み 高大官連携事業 スタート!

高大官連携事業がスタートし、城里町の現状や具体的な地域活性化の取り組みを企画・立案するため、グループワークや町内施設の現地視察等を行い、グループ別に企画案をまとめました。

各グループから挙げられた企画案では、藤井川ダムを擬人化した「ダ娘」の作成・活用や、藤井川ダム周辺の提灯を使ったライトアップイベント、藤井川ダムを舞台にした体験型の脱出ゲームイベントなど、若者らしくユニークな企画がありました。



◆平成29年度の取り組み 「藤井川ダムカレー」完成!

平成28年度に提案された企画案の中から、「ダムカレープロジェクト」が始動しました。

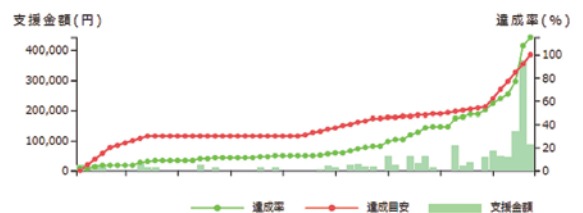
ダムカレーとは、ごはんをダムの堤防に、カレーを貯水池に見立てて表現したカレーのことをいい、現在では全国で145種類以上が数えられています。プロジェクト開始当初には、日本ダムカレー協会 宮島会長をお招きして監修を受け、藤井川ダムの特長を活かしたダムカレーの試作を繰り返しました。

また、プロジェクト達成に向けて、クラウドファンディングによる資金の確保を行いました。クラウドファンディング(CrowdFunding)とは、資金を必要としている組織や取り組みに共感した人が、インターネットを通じて出資する仕組みです。

クラウドファンディングを成功させるため、出資者への返礼品にオリジナルの絵本や地域産品を揃えるなどの工夫を凝らしました。また、クラウドファンディング開始当初は支援が伸び悩んだことから、東京都の国土交通省や一般財団法人 日本ダム協会を訪問し、町内外のイベントでのPR活動にも取り組みました。

その結果、支援者が143名にのぼり、支援総額は目標額を超える138万円が集まりました。

クラウドファンディングの経過は、多くの報道機関等で取り上げられました。また、大阪府内の自治体が本町を視察に訪れ、ダムカレープロジェクトを参考にした事業が立ち上がっています。



開発された「藤井川ダムカレー」は、常磐大学の学園祭での試験販売を経て、平成30年3月からホロルの湯で販売が開始しました。

販売開始初日には長蛇の列ができ、早々に完売となりました。また、県内外からダムカレーを目当てに、多くの方が本町を訪れています。

現在では販売数が1,000食を越え、本町の知名度向上及び地域活性化の一翼を担っています。



◆平成30年度の取り組み

平成30年度は、高校2年生と大学3年生が主体となり、『古内地区の活性化』をテーマに、新たな取り組みを実施しています。今後も、高大官連携事業の新たな取り組みに、ご理解ご協力をお願いします。

水戸ホーリーホック 沼田社長による講演！

平成30年度の事業開始に際し、地域資源について学ぶための事前学習として、株式会社水戸ホーリーホック 沼田社長による『アツマレを活用した未来の夢』と題した講演をしていただきました。

講演では、水戸ホーリーホックが目指すホームタウン活動や、地域とのつながりなどについてお話いただきました。

また、同日には城里町地域おこし協力隊が『古内地区の地域資源』についての講演を行いました。



大学生観光まちづくりコンテストにエントリー！

大学生観光まちづくりコンテストとは、全国の大学生が課題地域の魅力や調査・分析を行い、作成した地域活性化プランを競い合うコンテストです。平成30年度は、茨城県が課題地域として設定されています。入賞を目指し、フィールドワークを通じて地域活性化に係る活動を実施していきます。



大学生観光まちづくりコンテスト スケジュール

6月
フィールドワーク実施

ワークショップ実施

8月
コンテストへプラン提出

コンテスト一次審査

本選進出10団体選出

9月
コンテスト本選